

大会名 Competition	第30回 能代カップ 高校選抜バスケットボール大会
NO. M-110	Year Month Day Time 2017 年 5 月 4 日 17 : 05
場 所 Place	能代市総合体育館

発行：能代市バスケットボール協会
http://ncup.snowland.net



チームA		チームB										
能代工業	<table border="1"> <tr><td>15 1st</td><td>19</td></tr> <tr><td>9 2nd</td><td>13</td></tr> <tr><td>10 3rd</td><td>19</td></tr> <tr><td>22 4th</td><td>19</td></tr> <tr><td colspan="2">E P</td></tr> </table>	15 1st	19	9 2nd	13	10 3rd	19	22 4th	19	E P		福大大濠
15 1st	19											
9 2nd	13											
10 3rd	19											
22 4th	19											
E P												
56 ●		70 ○										

主審:Referee
藤垣庸二 宮城
副審:Umpire
小田中涼子 岩手
水木順仁 秋田
テーブルオフィシャル:Table officials
能代高男子

No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F	No.	PI-in	選手氏名	Name of Players	PTS	3P	2P	FT	F
4	×	児玉 凜斗	CAP	17	1	7	0	3	4	／	永野 聖汰	CAP	0	0	0	0	1
5	×	児玉 海渡		12	0	5	2	0	5	／	上塚 亮河		5	1	1	0	2
6	×	新田 由直		5	0	1	3	2	6	×	川島 聖那		13	0	6	1	2
7	×	石田 淳		4	0	2	0	4	7	×	浅井 修伍		6	0	3	0	4
8	×	守屋 壮次郎		2	0	1	0	0	8	／	中崎 圭斗		9	1	2	2	0
9	／	齋藤 創		6	0	3	0	1	9	／	藤井 宏治		9	0	4	1	1
10	／	牧野 湧		7	1	2	0	3	10	／	山本 草大		0	0	0	0	0
11	／	佐藤 侃		0	0	0	0	0	11	／	古見 成		4	0	1	2	0
12		高橋 日向		-	-	-	-	0	12		土家 大輝		-	-	-	-	0
13	／	伊東 翼		0	0	0	0	2	13	×	中田 嵩基		0	0	0	0	0
14	／	秋元 淳之介		3	1	0	0	0	14	×	横地 聖真		5	0	2	1	1
15		栗屋 颯太		-	-	-	-	0	15	×	井上 宗一郎		2	0	1	0	1
16		阿久津 穰		-	-	-	-	0	16	／	西田 公陽		8	2	0	2	0
17		遠田 貴大		-	-	-	-	0	17	／	木林 優		6	0	3	0	0
18		須藤 陸		-	-	-	-	0	18	／	田邊 太一		3	0	0	3	0
コーチ		栄田 直宏						0	コーチ		片峯 聡太						0
アシ		杉沢 政						0	アシ		田中 國明						0
合 計				56	3	21	5	15	合 計				70	4	23	12	12

※×:スター /:交代選手 PTS:ポイント 3P:3P率 イントシュート 2P:2P率 イントシュート FT:フリースロー F:ファウル

Score ranking[Team]

1	17	30.36%	児玉 凜斗
2	12	21.43%	児玉 海渡
3	7	12.50%	牧野 湧

1	13	18.57%	川島 聖那
2	9	12.86%	中崎 圭斗
2	9	12.86%	藤井 宏治

Score ranking[Game]

1	17	児玉 凜斗	能代工業	2	13	川島 聖那	福大大濠	3	12	児玉 海渡	能代工業
---	----	-------	------	---	----	-------	------	---	----	-------	------

1Q、先に流れをつかんだのは能代工。素早いボールへのプレッシャーから相手のミス誘い、#4児玉(凜)が連続してジャンプシュートを決めてリードを奪う。しかし福大大濠も徐々に落ち着きを取り戻し、#15井上のゴール下や#14横地のドライブなどで加点すると、#8中崎がオフェンスリバウンドからゴール下で得点し10-12と逆転に成功する。その後も福大大濠は#16西田の3Pや#8中崎のジャンプシュートで得点を重ね、リードを広げるが、能代工も粘り強いディフェンスを続け、終了間際に#4児玉(凜)が3Pを決めて15-19。福大大濠の4点リードで10終了。

2Q、開始直後、能代工は#9齋藤のドライブで2点差とするものの、福大大濠は#9藤井や#5上塚のインサイドでの得点でじわじわと点差を広げる。能代工はディフェンスでよく足が動き、リバウンドやルーズボールにしぶとく食らいついて反撃に転じ、#14秋元の3Pや#11佐藤のドライブからのアシストで#10牧野がジャンプシュートを決めるなど、一桁点差のまま粘る。24-32と福大大濠リードのまま前半終了。

3Q、立ち上がり、福大大濠は#8中崎のジャンプシュートや#6川島のドライブ、#16西田の3Pなどで一気に攻め、能代工のミスから#6川島が連攻を決めて点差は19点に広がる。しかしここから能代工はあきらめずにディフェンスで粘りを見せると、#4児玉(凜)がジャンプシュートやドライブで連続得点して40に望みをつなぐ。34-51で3Q終了。

4Q、能代工は#5児玉(海)のジャンプシュートや#10牧野のドライブ、#6新田のフリースローで加点し、#10牧野の3Pで一気に10点差まで点差を縮める。福大大濠も#9藤井や#6川島のゴール下で着実に加点する。一進一退の攻防が続くが、能代工はディフェンスからリズムを作り、いい流れでシュートを打つがなかなか決めきることができない。最終的に56-70で福大大濠が逃げ切り、勝利を収めた。